

We are Kwansei!

対談 田淵結新院長・村上一平同窓会会長

七つのキャンパスを持ち、幼稚園児から大学生、大学院生まで約2万8千人が学ぶ関西学院。大きな「学びと探究の共同体」となった今、スクールモットー“Mastery for Service”に代表される建学の精神をどう伝えていくべきなのか。

2016年4月にルース・M・グルーベル前院長からバトンを受けた田淵結院長と村上一平同窓会会長が語り合いました。



関西学院のカルチャーに引き込まれ好きになつた貴重な4年間

村上 田淵院長は今まで、宗教総主事としてさまざまな場面でお祈りをされてきました。でも、ご自分のことをお話しする機会はあまりなかったのではないでしょう。まずは、そのあたりからお聞かせいたいただきたいと思っています。

田淵 遠藤周作さんは自身とキリスト教の関係の中で「キリスト教は日本人にとって身の丈に合わない洋服を着ているようなものだ」とおっしゃいました。私が関西学院の院長であることも、身の丈に合った服を着ていないことにならないかと心配しています。

私は芦屋で生まれました。祖父が牧師、父親も牧師で、キリスト教はいつもそばにありました。そして、おじ2人が関西学院の出身だったので、いい学校であることは小さいころからよく聞かされていました。しかし、ここからが問題なのです。当時の関西学院の中学部入試も非常に難しく、お前が通



聖歌隊に所属していた学生時代（田淵院長：中央列右端）

田淵 ちょうど大学紛争が起きている時期で、私が入った年は入学式が行われず、授業も6月までありませんでした。始まってみたら、これが刺激的で。入学者全体の人数が少なかったのですが、まず学生同士の密度が濃かったですね。また、文学部の先生方全員が「よう来たな」と声を掛けてくださいました。そのころは、1、2年生

るわけがないということで、中学校、高校は公立に進みました。

そして、大学受験を経てついに憧れた関西学院に進むことができました。先に法学部と社会学部の発表があり、不合格。二つ駄目なら三つ目も駄目だろうと、私は文学部の発表を見に行きませんでした。当時は発表を見に行かないと合格書類をもらえなかったもので、合格していても入学辞退となってしまうそうです。ところが親が行っており、「合格しているよ」と連絡をくれました。あの合格の連絡を受けた瞬間、私の人生が変わりました。もし不合格だったら、今の私はありません。

村上 大学ではどのような学生だったのですか。

田淵 ちょうど大学紛争が起きている時期で、私が入った年は入学式が行われず、授業も6月までありませんでした。始まってみたら、これが刺激的で。入学者全体の人数が少なかったのですが、まず学生同士の密度が濃かったですね。また、文学部の先生方全員が「よう来たな」と声を掛けてくださいました。そのころは、1、2年生

のうちは皆並んで文学部、3年生で各学科に分かれましたから、ほぼ全学科の先生に学びました。ゼミが始まると、さらに先生との距離が縮まりました。いろいろな議論をしながら、いろいろな授業を受けながら、「本当にすごいところに来た、ありがたいところに来た」と感じました。関西学院が一気に好きになりました。それまでもいい学校であることは分かっていたのですが、さらに実感したのです。



ラクロス部の学生とともに（田淵院長：前列左から2人目）

村上 クラブには入っておられたのですか。

田淵 聖歌隊に入って活動しながら、宗教センターで実施されるプログラムのお手伝いをさせていただくこともありました。また、うまくはありませんが讃美歌が弾けるので、「オルガニストが急に来られなくなったから、君、代わりに弾いてくれないか」とみたいなきっかけがありました。中学部でもオルガンを弾くことがあり、元中学部長の矢内正一先生のお話を間近で聞くこともできました。小さい手帳を開きながらお話をされ、中学部の生徒しか経験できないことを大学生の私が経験できたのです。中学部の先生にも可

愛がっていたいただきましたね。千刈キャンパスに連れて行ってもらい、オリエンテーションキャンプのリーダーとして活動することもありました。

とにかく、関西学院のカルチャーの中にぐっと引き込まれた4年間でした。今でも「関学が好きなことは誰にも負けない」と学生たちに話すほどです。

村上 お話しぶりから、本当に関西学院がお好きなことが伝わってきます。

母校で働いて35年 学院の歴史やヴォーリスについて 知ること楽しかった

田淵 文学部を卒業後は、神学部に入學し大学院まで進みました。ですので、関西学院に通った年数だけで見ると11年で中高大1貫の10年より長くなります。これは自慢ですね。神学部は比較的小さい規模で、非常に居心地のいい場所でした。楽しい学生生活でした。

卒業して牧師になり3年がたったころ、「君、文学部の宗教主事にならない



院長

田淵 結 (たぶち・むすび)

第16代関西学院院長、高中部長、初等部長、関西学院大学教育学部教授。1973年関西学院大学文学部卒業、1975年神学部卒業、1977年大学院神学研究科博士課程前期課程修了、同神学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学、ロンドン大学キングスカレッジ留学。旧約聖書学専攻。2016年4月から院長。

したが、私がより積極的にチームに関わっていた時はなかなか勝てませんでした。でもチャレンジングなチームに関わるのは、非常に面白かったですね。何もないところから10年以上かけて体育会に昇格しましたから。ラクロスチームの学生たちはストイックで、非常に厳しく自分たちを律していました。とても熱心でした。

総じて学生は関西学院へのコミットメントが強いです。そして、みんな大学のことが好きです。今、教員はそれほどの思いを持って学生に接しているでしょうか。関西学院にそれほど燃えているか、関西学院をそれほど好きか、問われていると思います。

個性の異なる キャンパスを包括する 新しいキャラクターの 発信を

村上 関西学院はこの20年で大きく変わりました。大学の学部は11に増え、キャンパスも七つになりました。田淵院長は千里国際キャンパスと西宮聖和キャンパスの設立にも関わっています。

田淵 今までは西宮上ヶ原イコール関西学院だったのが、個性が違うキャンパスが集まったの関西学院となりました。上ヶ原のことだけを押し付けてはいけません。千里国際や西宮聖和にはそれぞれ歴史もありますから、そういうものを含

めた新しい関西学院のキャラクターをつくらないといけないと思いますね。もちろん今は世界に関西学院を示す時でもあります。でもそれと同時に学内にいる人たちが「同じ関西学院だよね」と思える「We are Kansai」という気持ちが必要です。私は、初等部に行ったり、中学部に行ったりとできるだけいろいろなキャンパスに足を運ぶようにしているので、どこに行っても「あなたたちは関西学院の仲間だ」と言い続けています。中学部の生徒が初等部の児童に会ったときに「同じ関西学院の仲間だ」という気持ちを持ってくれるかどうか。宝塚大橋の上で大学生が初等部の子とすれ違った際に、「あ、仲間だ」と思ってくれるかどうか。親しみが自然に生まれて「今から学校に

同窓会会長

村上 一平 (むらかみ・いっぺい)

1967年関西学院大学経済学部卒業、日清製粉株式会社入社。常務取締役などを経て2007年株式会社日清製粉グループ本社代表取締役社長就任、現在同社特別顧問。2012年関西学院大学大学院文学研究科入学、2014年大学院文学研究科博士課程前期課程修了、現在同文学研究科博士課程後期課程。2015年から同窓会会長。

か」とお声をかけていただきました。この誘いは本当にうれしかったです。ちょうど娘が生まれてすぐでしたので、寝かす時は子守唄代わりに「A Song for Kansai」を歌っていました。

村上 そこから今日までずっと関西学院と関わっておられるんですね。

田淵 教員として35年。入学したのが1969年ですから、およそ45年間、本当に楽しい時間を過ごしてきました。関西学院のキャンパスの美しさをもう少しきちんと理解したいと思い、キャンパスの設計をしたウィリアム・メレル・ヴォーリズについて研究したり、学院の百年史の編集に関わったりしました。原稿を書くために学院の歴史を調べるのは面白かったですね。また、教員になってから2年

間、ロンドン大学にランバス留学をさせていただきました。そこで異文化、多文化の中で生きるという経験をしました。

村上 教員として、さまざまな学生と関わってこれたと思います。思い出に残っていることはありますか。

田淵 学生寮の舎監を務めたことがありました。当時の成全寮は、まだなんとなく紛争の香りがする寮と言われていました。私なりに学生に近づこうと、クリスマスにケーキを買って一緒に食べたり、お金がない学生が多かったので新入生歓迎会を寮のロビーでしたり。寮生との交わりは楽しかったですね。

もう一つ、教員生活35年のうち、20年以上ラクロス部に関わりました。ロンドンから帰ってきたころ、松蔭女子大学の勝

村先生に「松蔭にラクロス部をつくらうと思っている。関学にもつくってもらえないか」と言われたのです。当時上ヶ原にはバス・キャッチをやっている男子学生が何人かおり、ある日、それを見ていた女子学生2人に「ラクロスをやってみない？」と声を掛けました。「やれるのならやってみよう」と言うので、早速研究室に来てもらって話をしました。すると、ラクロスをしていた男子学生たちも「急に連れていったから心配になって」とやって来て、「僕らもラクロスチームを作りたい」ということになり、結局、男子と女子、両方のチームを立ち上げました。

村上 今や全国優勝するほどのチームになりました。すごいですよね。

田淵 初期には女子が全国優勝もしま



行くんやな、頑張れよ」と声を掛けたくなる。そんなあいさつができる関西学院にできたらいいなと思いますね。

村上 先ほど、いろいろなキャンパスがあつてそれぞれに個性がある、そういうものを含めた新しい関西学院をつくつていかなければいけないとおっしゃいました。でも、ノスタルジアではなく、この上ヶ原で自然に身に付けていった関西学院らしさ、それが千里にはあるのか。初等部ではどうなのか。聖和ではどうなんだろうと思うんですね。これから海外にもキャンパスができるかもしれません。そうなった時に、阿吽の呼吸ではなく、具体的な言葉で発信していかないといけないのではと思います。先日、千里国際キャンパスにある関西学院大阪インターナショナルスクールの卒業生が2、3人しか関西学院大学に進学しなかったと聞きました。これはものすごく心配なことです。「関西学院にもつといたい、もつとここで学びたい」という部分が希薄なのではないかと思っています。

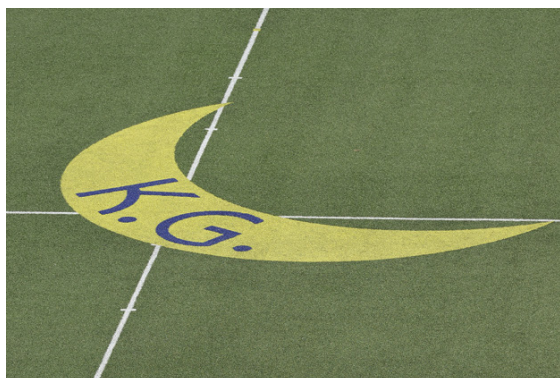
田淵 大阪インターナショナルスクールの件は私の責任でもあります。もつと彼らと関わって、“Mastery for Service”を訴えていかなければならなかったと反省しています。実は昨日、上ヶ原で大阪インターナショナルスクールの生徒たちのキャンパス見学がありました。そこで彼らに「大阪だけではなく、ここも君たちのキャンパスだ」と訴えました。そういう話を

これからはもつとしていこうと思います。

村上 教員が関西学院のことをどれほど好きか問われているとおっしゃいました。

田淵 熱い思いを持つて関西学院に入学してくる児童・生徒・学生たちに、教員がどれほどの思いで向き合っているかということ。関西学院は私学の独自性を持つて教育しています。第2代院長の吉岡美國先生は

「聖書と礼拝なくして学院なし」とおっしゃいましたが、その通りだと思います。教員にはその一端を担っているという気持ちをもう少し持つていただきたいと思っています。



村上 大学には2面性があると思います。研究機関であると同時に教育機関でもあるのです。研究機関である限りにおいては、学外からも人をどんどん入れていくことが大切です。でも教育機関という意味からすると、ずっと関西学院で学んだ人こそが本当の意味での卒業生です。そして、この人たちが関西学院の精神を伝えていかなければいけないと思います。

す。

田淵 ずっと国立大学で教えてこられた方が関西学院に赴任されて、「この学校は違う」とおっしゃったことがあります。例えば「教授会でのお祈りは、気持ちを一つにするという意味ですごくいい」と。一つのを一緒に求めていると実感していただくことは大切ですね。そしてそれを関西学院の良さとして語っていた。それがキリスト教主義であるかどうかではなく個性として

関西学院らしさを もっと大きな声で 伝えていくべき

村上 私は、それはキリスト教主義であるべきだと思っています。もっと大きな声で伝えていくべきではないでしょうか。院生として文学部の音楽礼拝に出席した際、ある合唱団が出てきて日本の

あるポピュラーソングを歌いました。合唱は上手だったのですが私は「礼拝がどういう時間なのか分かっていないのだろっか」とがっかりしました。誰かが教えてあげないといけないのです。
田淵 自分で気付いてほしいですが、それは無理なんでしょうかね。ただ、あまり言う学生はやらされる感を持つてしまいます。難しいですね。

村上 キリスト教主義を押し出していく

ことと、クリスチャンをつくっていくことは違います。クリスチャンになるかならないかは学生自身が考える自分自身の問題ですから。

田淵 私がいつも関西学院のバッジを付けるようになったのは、学生のころの宮田洋先生の教えからなのです。今までにいろいろな先生がおられて、先生の言葉や教えに伝えてきました。今の私があるのは先生たちのおかげです。

村上 そういうことをどなたか言い続けなければいけないのでしょうか。いろいろな方がいろいろな場面、自分の言葉で現役の学生たちに伝えていくことが大切です。

田淵 だからこそ、日常的に学生に向き合っている教員のミッションが大事になると思います。関西学院で教えるということの独自性を理解しているか、これから訴えていきたいと思っています。

村上 最後に同窓のみなさんにメッセージをお願いします。

田淵 私は同窓会に呼ばれるたび、必ず「皆さんが学生だったころの関西学院の話を聞かせてほしい」とお願いしています。歴史を知ると、だからこうなったんだな」と分かります。昔のことだから今の関西学院とは関係ないと思わず、皆さんも関西学院の一人としてどんどん発信していただきたいですね。